

ね

「ね行」の天草方言 「天草方言集 鶴田 功著」

…ね …ねー …ですか …なのか 呼び掛けや念を押すことば
 ねいしゃ ねーしゃ 仕事が丁寧な人 入念な人
 ねいっとる【寝入る】 熟睡する
 ねいれて ねーいれて ねーれて ねんいれて 念入りに 入念に
 ねー【根】 植物の根 ②根本原因 本性 ③灸のつぼ
 ねーえん ねーきらん ねきらん 眠れない ②寝られない
 ねーおろす 患部の壺に灸の箇所を記す ②落ち着く
 ねーさん ねーちゃん 姉さん ②夫人 奥さん《京》
 ねーしゃ 仕事が丁寧な人 入念な人《新和》
 ねーた【泣いた】 [な]の転音《佐伊津 五和》
 ねーった ねた ねった 眠った
 ねーっとい《牛深》 ねーっとる ねとる 眠っている
 ねーとる 泣いている [な]の転音《佐伊津 五和》
 ねーならん 眠れない ②寝られない《竜ヶ岳 御所浦》
 ねーにもつ ねーもつ 恨みに思う 根にもつ
 ねーられん ねーらん ねーりえん ねーりきらん 眠れない
 ねーりしんどる 熟睡している
 ねーりはな ねはな ねばな 眠りについて直ぐ
ねーる ねる【眠る】 睡眠をとる 寝入る **sleep**
 ねーれ ねろ【眠れ】
 ねーろうだ 眠ろう ②就寝しよう
 ねーんな ねんな 眠るな 居眠りするな
 ねおき 古語【寝起く】 寝起き 目覚め
 ねおきさま ねおきざま 古語【寝起く】 目覚めて直ぐ
 ねおきさみゃー 寝起様に 目覚めて直ぐに
 ねおずみ 古語【寝覚め】 目覚めて呆然とした状態《日ポ》
 ねおる ねたおす ねたわす 病気になる 病に仆れる 病で寝込む
 ねがえりうつ 寝ている体位を変える 敵方に付く
 ねがけ【寝掛け】 ねかかり 寝て直ぐ《日ポ・京》
 ねかする ねかせる ねする 味噌麴などを発酵熟成させる
 ねかぶる 古語【眠気がさす】 ぼんやりする
 ねぎ ねぎさん 古語【禰宜】 神官 神職
 ねぎつつくる ねぎる 古語【睨まふ】 睨む **glare at** 睨み付ける
 ねぎっとる 睨んでいる [に]の転音《日ポ》
 ねぎる【値切る】 値引き交渉 値段を安く交渉する
ねぎる【睨む】 目を怒らす ②見当する《日ポ》
 ねぎれ【根切れ】 根絶 完治 完全に切れない

ねぎれンせん (病が)完治しない

ねぐじょ ねぐぜ【寝苦情】 幼児が眠いときにむずかる「寝苦情言う」

ねぐせ【寝癖】 寝相 ②起床後髪型が崩れている様

ねぐるしか ねまぐるしか 寝苦しい 暑くて寝づらい

ねごうてもなか ねごうてンなか 願ってもない

ねこかたる ねこする お世辞を言う おべっかを言う 諂う 阿る

ねこかぶる【猫っ被り】 知らん顔する ②本性を隠す《京》

ねこぎ ねこそぎ〈根刮ぎ〉 根ごと引き抜く 削りそぐ ②あるだけ全部

ねこじた【猫舌】 **delicate tongue** 熱いものを飲食できない人

ねごすけ 寝坊 目覚めの悪い人

ねこだましい【猫魂】 ②ずる賢いこと

ねごついう 睡眠中に発することば ②訳の分からない話

ねごうてもなか ねごてもなか 思い掛けない 思いの他

ねこなでごえ【猫撫で声】 阿る おべんちゃら おべっか

ねこばば【猫糞】 拾得物を自分の物にする《京》

ねこまたぎ〈猫跨ぎ〉 猫も食べない魚 ②無関心

ねこまんま〈猫飯〉 汁を掛けたご飯

ねこよりまし 手伝う子どもをからかって言うことば

ねころうで 寝転んで 寝そべる

ネコンシャミセン〈猫の三味線〉ナズナ (春の七草)

ネコンチンチン〈猫の珍々〉 ②猫 柳 川柳

ねざめ【寝覚め】 目覚め 眠りから覚める

ねじつつくる 捩じ伏せる

ねじき【寝敷き】 衣服を布団の下に敷いてプレスする

ねじくる【捻じる 捩じる】 **twist** 無理に回す《京》

ねしな《京》 ねはな 寝しな 寝際 寝てすぐ

ねじるる 捻じれる 捩じれる 無理に回る 逆に回る

ねずむ 抓る **pinch** ②指先で挟んで強く摘む 摘む《日ポ》

ねする【寝せる】 寝かす 横になって休ませる

ねする 味噌麴などを発酵熟成させる

ねせがね〈寝せ金〉 活用しない金

ねせつくる ねせつける 幼児をあやして寝かせる

ねせていっちょく ねせとく 寝せておく

ねぞーンわるか【寝相】 寝姿が乱れている

ねそべる 寝転ぶ 横たわる《京》

ねた【種】 **material** 材料 食材 ②取材記事《京》

ねだおし【根倒し】 立木を根から伐採する

ねたおす ねたわす〈寝 仆す〉 病気で仆れる 寝込む

ねたがい ねたぎゃー ねたげー【寝違い】 首の筋肉痛

ねたがわす 寝違える 寝相が悪くて首の筋肉痛を起こす

ねたごうた ねちごうた 寝違えて首の筋肉痛を起こした
ねたばっか ねたばっかし ねたばっかり 寝て直ぐ 寝て間がない
ねたぼ ねたぼう〈寝た坊〉 寝たきりの病人
ねたむ 古語【妬む】 嫉妬する **jealousy** 羨む ②憎む
ねだったわす 無理にせがむ せびる ②拝む
ねだる〈強情る〉 **tease** せがむ せびる
ねたりーろ ねたろうかい ねつろうかい 眠っただろうか
ねたろうば ねつろうば 眠ったら ②寝たならば
ねたわす〈寝^たわす〉 病気で仆れる 寝込む
ねちか ねつか ねっか 熱心だ 丁寧だ 念入り ②執拗
ねちがい ねちぎゃー ねちげー【寝違い】
ねちねち ねっちり〔擬態音〕 執拗に 辛抱強く ねばり強く《京》
ねちゃねちゃ ねとねと《京》 粘っこい
ねつか【熱心】 入念
ねつかん 眠り付かない 熟睡しない
ねつく〈寝付く〉 寝込む ②病に伏す 長患い
ねつけ ねっつ【根付け】 根元 **root**
ねったくり 餅と甘藷を煮て練り潰した食物
ねったくる【練る】 よく練る 練り付ける
ねったぼ《牛深》 餅と甘藷を煮て練り潰した食物
ねっちねっち ねっちりねっちり ゆっくりと 入念に
ねとけ ねとれ《京》 眠っている 寝ている
ねどこ【寝床】 寝るために敷いた蒲団 **bed**
ねどころ【寝所】 寝室 **bedroom** 《京》
ねとぼくる ねとぼける《京》【寝惚ける】
ねとらす ねとんなす ねとんなはる 寝ている 眠っている
ねとらっさん ねとんなっせん 寝ていらっしやらない
ねとられん 寝ていられない
ねとらん 眠っていない 寝ていない 徹夜する
ねとる 眠っている 寝ている 《京》
ねとんな 眠らずに目を覚ませ 寝ないで起きている
ねなしぐさ【根無し草】 浮き草 ②風来坊
ねばか ねんばか 粘り気がある 粘っこい
ねばし ねば綿 絹綿 蒲団等の仕立てに使う屑繭の綿
ねばっとる 粘り気がある ②粘り強く続けている
ねはな〈寝端〉 寝てすぐ
ねはにゃー ねはねーに 寝てすぐに 眠りにつく頃
ねばねば【粘々】〔擬態音〕 粘り気
ねばり 草木の根 四方に張り出した根
ねばりおろす 居着く 永住する ②安定する ③固定する

ねばる【粘る】 柔くてくっ付き易い ②根気良く頑張る
ねびーもん ねみー 眠たいものだ
ねぶうい ねぶうして ねぶうて 眠くて 眠たくて
ねぶーなか ねぶなか 眠くない
ねぶーなった ねぶなつた 眠くなつた
ねぶか ねぶたか ねむか 古語【寝ぶたし】 眠むたい
ねぶしゃー ねぶしゃ ねぶせー ねぶせ 眠さに 眠たがる
ねぶち〈根鞭〉 川竹の地下茎こゝろで作った鞭 《京》
ねぶつた 目を閉じた ②独楽こまが静止した
ねぶつた 古語【舐ぶる】 舐めた ②しゃぶつた
ねぶつつらかす 舐め回す やたらとしゃぶる
ねぶらする ねぶらせる 舐めさせる
ねぶりかぶる 古語【眠気がさす】 ぼんやりする
ねぶりこくる ねぶりこけとる 寝惚ねぼけている
ねぶりはぐ 舐める 皮膚かわが剥げる程舐める
ねぶる 古語【舐ぶる】 舐める lick しゃぶる 《日ポ・京》
ねぶる【眠る】 sleep 目を閉じる ②独楽が静止する 《京》
ねぼくる ねぼける 《京》【寝惚ける】
ねぼけ【寝惚け】 完全に睡眠から覚めず惚けた状態
ねぼすけ 朝寝坊 目覚めの悪い人 《京》
ねほりはほりきく〈根堀葉堀〉 何から何まで詳しく聞く
ねま【寝間】 bedroom 寝部屋 寝所 ②納戸 《京》
ねまちづき【寝待ち月】 十九夜の月
ねまっとる 腐っている ②熟睡している
ねまる【粘る】 腐敗する ②熟睡する ③うづくまる ④遅滞する 《日ポ》
ねまわし【根回し】 移植前の根切り ②事前交渉 《京》
ねむか 古語【寝ぶたし】 眠むたい
ねむりかぶる【眠気がさす】 ぼんやりする
ねもはもなか 根も葉も無い 根拠がない
ねらいた ねらつた ねらした 寝られた お休みになった
ねらまるる 睨にらまれる 着目される [に]の転音
ねらみつくる 睨み付ける [に]の転音
ねらむ 古語【睨まふ】 睨む 狙う ②見当をつける 《京》
ねられやした 就寝しました 身内敬語用法
ねられん 寝られない ②眠れない
ねらん ねん【寝ない】 ②眠らない
ねらんかい …な …ね …ば …や 寝なさいよ
ねりがき【練柿】 あおし柿 お湯や焼酎かまぼこで渋抜きをした柿
ねりもん【練物】 羊羹や寒天 ②竹輪や蒲鉾
ネル flannel 毛織物

ねるる ねれる【練れる】 捩れる^{ねじ} 熟練する ②渋味が取れる
ねれ ねろ ねろい ねろな ねろね 寝なさい 眠れ
ねろうだ【狙った】 目指した ②睨んだ
ねろうて ねろうで【狙って】 狙いを定めて 目指して ②睨んで
ねろかい ねろだい ねろわい 寝ましょう
ねわすれた 朝寝坊した 《御領》
ねんいれて 念入りに 入念に
ねんかかる 凭れ掛かる 背中から寄りかかる
ねんかくる ねんかける 立ち掛ける
ねんがら 杭を地面に打ち込んで遊ぶ遊具《京》
ねんからねんじゅう 一年中 毎日毎日《京》
ねんき【年忌】 命日の法要《京》
ねんき【年期】 期間 期限 「年期奉公」
ねんきぼうこう【年季奉公】 期限付き契約就労 使用人
ねんきもん【年季物】 年季を経た貴重品 骨董品
ねんごろ 古語【懇ろ】 親切 kind 丁寧 丁重 念入り ②密通
ねんころぶ【寝転ぶ】 横になる
ねんしゃ【念者】 丁寧な人《大道 新和・京》
ねんずる 念じる 一心に思う 深く願う 祈る 経を唱える
ねんぞくな〈念俗〉 低俗 ②生意気な 小癩な 不相応な
ねんちょかくる …かける 目を付ける 狙う ②欲しがる
ねんねこ 幼児を背負う時、上から着る半纏《京》
ねんねこぼっちょ〈合歡の木〉 ネムノキ
ねんねせろ お眠りなさい (幼児語)
ねんノいっとる 入念だ 仕事が丁寧だ
ねんば 寝なければ ②寝なさい
ねんばい《牛深》 ねんばる【粘る】 ②熱心 くどい《志柿》
ねんばか 粘り気がある 粘っこい
ねんばりぐち ねちねち話をする人

[トップページへ戻る](#)